

## 評価細目の第三者評価結果

### 1 共通項目

#### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

##### Ⅰ-1 理念・基本方針

Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：  「地域の保育園として、地域や保護者の願いを受け止め、恵まれた自然・地域の人々と触れ合いながら、子ども達のために最善を尽くす保育園をめざす」との理念に基づき、「恵まれた環境の中で、子どもたちの健全な心と「食・遊・眠」を生活の基本とし、個性を大切にする」「遊びや集団生活を通して、思いやりや協調性を育てる」「地域、保護者との連携を深め、豊かな体験を通して生きる力を育てる」の三つの基本方針が明文化され、具体的な「元気いっぱい・笑顔いっぱい・友だちいっぱい」の保育目標が明文化されている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
	Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-1-(2)-② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：  年度当初に職員配布し、周知されている。また保育課程に記載された理念等を毎朝の職員朝礼で唱和し、理解に努めている。  利用者等への周知については、保育園のしおりに記載し、入園式の際に保護者にわかりやすく説明する等して周知に努めている。また、ホームページに詳しく掲載し、広く情報発信している。はぎわら通信を地域の自治会を通じて、全戸に配布している。</p>		
改善できる点／改善方法：		

## I-2 事業計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	A・B・C
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	A・B・C
<p>良い点/工夫されている点：  平成27年度に市の指定管理施設となり、平成28年度に認定こども園となり、「きたこども園」としてスタートしている。まだ、スタートアップの時期であり、変動期にある福祉動向の潮流を捉えた詳細な中・長期計画の策定については、途上の段階である。しかし、市の「かがやきプラン」を踏まえ、地域の様々な保育ニーズを把握して、園としての事業展開のビジョンを示した中・長期的な施策体系を策定している。  中・長期計画を踏まえ、年度ごとに事業計画を策定している。方針を明確にし、保育目標を設定し、保育内容に反映させている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：  今後、収支計画とセットにした具体的な園経営全般に渡る中・長期計画の策定に向けた取り組みに期待したい。</p>		
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	A・B・C
	I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	A・B・C
	I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	A・B・C
<p>良い点/工夫されている点：  事業計画は職員が参画して策定されている。企画会など各職員の意見をリーダーが取りまとめ、調整して計画に反映させている。  計画は年度当初の職員会議で、職員への周知を図っており、保育実践につながっている。  入園式等の機会を捉え、年間事業計画として各保護者に配布し、説明している。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		

## I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A・B・C
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	A・B・C

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>組織表を作成し、園長の役割や運営管理全般については職員会議や朝礼の場で表明し、保護者には「きたっこだより」によって役割を表明している。</p> <p>法令遵守についての研修は積極的に参加し、各種研修で学んだ法令については、職員会議等で報告するとともに、復命書を回覧して周知を図っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>児童福祉制度の改変期にある昨今、常に最新の法令知識が職員に求められる。今後、園運営の関係法令を系統的に整理し、リスト化するとともに、アクティブラーニング形式や小テストを活用する等して、職員研修のさらなる充実に向けた取り組みに期待したい。</p>	
<p>I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p>	
<p>I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育目標を毎朝唱和することで、職員一人ひとりが日々の保育を大切にし、保育に向かう姿勢を正している。定期的に評価・分析を実施し、現状の保育の質について課題を明らかにし、職員チーム一丸となり、資の向上を図るべく取り組んでいる。</p> <p>経営や業務の効率化と改善については、経費の節約意識を持ち、効率的かつ有効な予算の使い方等を工夫している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 経営状況の把握

<p>Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育事業関係の動向については、各種専門誌の購読、各種研修や市担当課、関係機関、地域団体等から情報収集し、職員会議等を通じて全職員に周知を図っている。保護者会等での意見聴取等で保護者ニーズを把握している。また園庭開放や、隣接の北児童館と連携した子育て支援事業実施を通して地域の未就園児等のニーズの把握に努めている。</p> <p>ニーズ分析は、職員会議等で行い、次の計画に反映させるよう取り組んでいる。</p> <p>経営状況については、公認会計士、社会保険労務士の経営分析や助言・指導を受けて、事業計画に反映させている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

## Ⅱ－２ 人材の確保・養成

Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。	第三者評価結果
Ⅱ－２－（１）－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（１）－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ａ・Ⓑ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育士不足が顕在化している昨今、採用活動に力を入れ、人材確保に努め、入所状況、年齢、長時間保育等の状況に応じた職員配置がなされている。</p> <p>目標管理制度を導入し、職員の自己評価を実施し、面談を通じて個々の意欲を引き出しているが、人事は平等主義であり、客観的な基準に基づく人事考課は検討の段階である。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>職員、皆平等の方針は、ひとつの考え方であるが、キャリアパスを考えていく上で、職員の仕事能力評価も必要と考えるので、今後、人事考課について検討に向けた取り組みに期待したい。</p>	
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。	
Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（２）－② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員の就業状況や有給休暇の取得状況をチェックし、積極的に取得できるよう配慮している。</p> <p>職員全員の健康診断が実施されており、また市にカウンセラーが配置され、相談体制が整備されている。共済会に加入し、親睦会があり、年間に定額補助の範囲での福利厚生が実施されている。</p>	

改善できる点／改善方法：	
Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
Ⅱ－２－（３）－① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（３）－② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（３）－③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	Ａ・Ⓑ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>事業計画の中で、「高い志と確実な指導力と技術、豊かな人間性と社会性を有した職員の質の向上が、私たちのめざすこども園の生命線です。これらを体得し、保育士として真の力を身に付けるため積極的な研修参加を行います。」という研修の基本姿勢が明示され、年間の研修計画に基づいた研修が実施されている。</p> <p>外部研修については、職位別にスキルに応じた研修を職員の希望を踏まえて受講させている。受講後、参加報告を行い、資料を職員に回覧し、共通認識を深めている。研修内容を日常の保育に取り入れ、保育の質の向上に努めている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
研修受講後は、報告や回覧で、伝達している。今後は、研修計画の評価を行う仕組みの構築に向けた取り組みに期待したい。	
Ⅱ－２－（４） 実習生の受入れが適切に行われている。	第三者評価結果
Ⅱ－２－（４）－① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>実習受け入れマニュアルを整備し、職員会議で周知している。受け入れにあたり、事前のオリエンテーション、実習後のカンファレンスや感想レポートを分析し、次年度の受け入れに反映させている。実習生には、効果的な演習が行われるようエピソード記述の読み解き、子どもへの理解が深まるよう指導している。実習には地元出身の学生が多く訪れ、積極的に受け入れている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

### Ⅱ－３ 安全管理

Ⅱ－３－（１） 利用者の安全を確保するための取組が行われている。	第三者評価結果
----------------------------------	---------

II-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ・B・C
II-3-(1)-②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	Ⓐ・B・C
II-3-(1)-③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>各種マニュアル（防災、食中毒発生予防、保健衛生、感染症対応、地震、不審者対応等マニュアル）を整備し、各種訓練を実施して、責任と役割を明確にした緊急時の速やかな対応体制を整えている。</p> <p>災害時の対応マニュアルを作成し、避難訓練を重ね、備蓄品を準備して災害時に備えている。また、保護者には全員一斉メールができるような体制となっている。</p> <p>子どもの安全確保のための事故防止、遊具、用具の点検マニュアルを整備し、事故防止チェックリストを活用して事故防止に努めている。またヒヤリハット事例を活用し、事故の未然防止策を職員会議で話し合い、子どもの安全確保に努めている。</p>		

## II-4 地域との交流と連携

II-4-(1)	地域との関係が適切に確保されている。	第三者評価結果
II-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・B・C
II-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・B・C
II-4-(1)-③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A・Ⓑ・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>事業計画の中で、「地域の中のこども園、地域に支えられるこども園、地域に貢献できるこども園を基本的な姿勢にすえ、地域との関わりを大切にしたい運営を行います。」という地域との連携についての姿勢を明示しており、園の各行事には地域の方々に参加を呼びかけたり、農家に協力いただき野菜作り体験を行っている。また、近隣の高齢者施設や地域のボランティアグループとの交流を行っている。</p> <p>園庭開放、本の貸し出しや子育て相談などの活動を行っている。また、北児童館との連携の下、子育てに関する様々な相談を受け付けられる体制となっている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>地域のボランティアの受け入れはできているが、マニュアル等の整備が不十分であるので、整備に向けた取り組みに期待したい。</p>		

Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。		
	Ⅱ－４－（２）－① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（２）－② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>警察とは交通安全指導、消防署は防災訓練等、事業を通じて、また保健センターとは子育てに必要な情報や助言指導を受ける等、関係機関との連携が取られている。関係機関のリストアップがされている。</p> <p>各団体(民生委員、主任児童委員、老人クラブ、自治会等)との連携が密になっており、情報交換を行っている。小学校との連携を取りながら、子ども園から小学校への円滑な移行に取り組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者評価結果
	Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園庭開放、本の貸し出しや子育て相談などの活動を通じて地域のニーズ把握に努めている。また、隣接の北児童館との連携の下、地域の未就園児の情報や子育てニーズを把握している。</p> <p>地域ニーズに対応して、長時間保育、未満児保育、土曜保育の受け入れ等の事業を実施している。</p>		
改善できる点／改善方法：		

### 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
	Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

<p>良い点／工夫されている点：  子ども園運営にあたっては、児童憲章を尊重し、職員会議や支援会議などにより共通理解ができる場を通して、プライバシー保護、個人情報保護、性差への配慮、アレルギー対策等、子ども一人ひとりの人権を大切にしたい保育が展開できるよう規定やマニュアルを整備し、組織的な取り組みを行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅲ－１－（２） 利用者満足の上昇に努めている。</p>	
<p>Ⅲ－１－（２）－①</p>	<p>利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。</p> <p style="text-align: right;">Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点：  年1回のアンケートの実施、保護者会、個別懇談会、保育・プール参観、祖父母参観等を等して、利用者満足度を把握するとともに、アンケートの記載内容や行事ごとの感想の聴取で、保護者の意向の把握に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>	
<p>Ⅲ－１－（３）－①</p>	<p>利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。</p> <p style="text-align: right;">Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－１－（３）－②</p>	<p>苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。</p> <p style="text-align: right;">Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－１－（３）－③</p>	<p>利用者からの意見等に対して迅速に対応している。</p> <p style="text-align: right;">Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点：  保護者が話しやすい雰囲気作りを心がけ、送迎時の積極的な声かけや日常的なコミュニケーションを多く持つようにして相談や意見を述べやすい環境を整備している。また、保護者に対するアンケートには、記述欄を設け、意見を具体的に聞けるようにしている。  苦情解決の仕組みについては、苦情解決担当者、責任者、第三者委員を設置し、この仕組みについて園内掲示している。  寄せられた意見に迅速に対応するように努め、苦情や意見は職員会議等で検討し、保育の改善につなげている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

### Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（１）－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（１）－② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>年度当初に、職員の自己の目標を「私の目標」として発表し、年3回の自己評価と評価の見直しを行い、課題を明確にし、改善策を検討して、保育の質の向上に取り組んでいる。今年度は第三者評価を受審し、園全体の保育の質の向上に向けた取り組みをさらに深めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（２）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（２）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>個々の業務についてはマニュアルを作成し、職員会議等で周知を図っている。保育計画については保育課程に基づき、年間指導計画、月案、週案、日案を作成し、企画会議や職員会議において共通認識を持ち、実践している。保護者に対してアンケートを実施したり、各種会議や職員全体会等の機会を捉えて、職員からの意見を汲み上げる等、保育実践に反映させている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。		
	Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・B・C
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>指導計画に沿って保育記録、保育日誌、個別記録等、各種の記録を詳細に記録している。職員会議等で、子どもの現在の状況や目標とする育ち等について話し合い、職員間で共通認識を持つようにしている。個人情報保護については、マニュアルを作成し、職員の認識を持つようにすると共に、写真や映像等にも保護者等の承諾を得る等の確認手順、ファイリング保管、パソコンの取り扱い等を規定している。</p> <p>利用者の状況は、定期的な学年会議や支援会議により、一人ひとりの育ちの状況についての情報の共有化を図り、支援している。</p>		
改善できる点/改善方法：		

### Ⅲ-3 サービスの開始・継続

Ⅲ-3-(1)	サービス提供の開始が適切に行われている。	第三者評価結果
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ・B・C
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>保育理念、保育方針、保育目標、保育内容等の情報はホームページを開設して詳しく紹介している。また北児童館と連携の下、未就園児への園庭開放やたよりの発行を実施している。</p> <p>保護者が理解しやすいように入園の申込書や保育のしおりにより具体的な保育内容を説明している。また、次年度入園の対象児に園庭開放等の実践を通して理解を深め、保育内容を説明し、同意を得ている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ-3-(2)	サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・B・C

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育サービスの変更や転園に際しては、文章による引き継ぎ書を定めてサービスの継続性に配慮した対応を行っている。就学児については、入学する小学校に保育所児童保育要録を送付し、子どもの育ちの継続に配慮している。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

### Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>統一したアセスメント様式を使用し、家庭状況、成育歴、心身状況等について定められた手順に従ってアセスメントを行っている。子ども一人ひとりの発達や個性に応じた保育を実践するために、個別懇談会等の機会を捉えて、保護者への聞き取りを行い、ニーズを把握して、課題を明確にしている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス実施計画の策定については、アセスメントに基づき、当園の特長を活用しつつ、保護者の意向を取り入れ、保育日誌、個別記録票等の記録も振り返りつつ、職員会議等で話し合い、計画を策定している。</p> <p>計画の見直しについては、毎月、評価見直しを行っており、次月の計画に反映させていく仕組みがある。また年度末には、今年度の反省と次年度への課題を話し合い、評価、見直しにつなげている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		